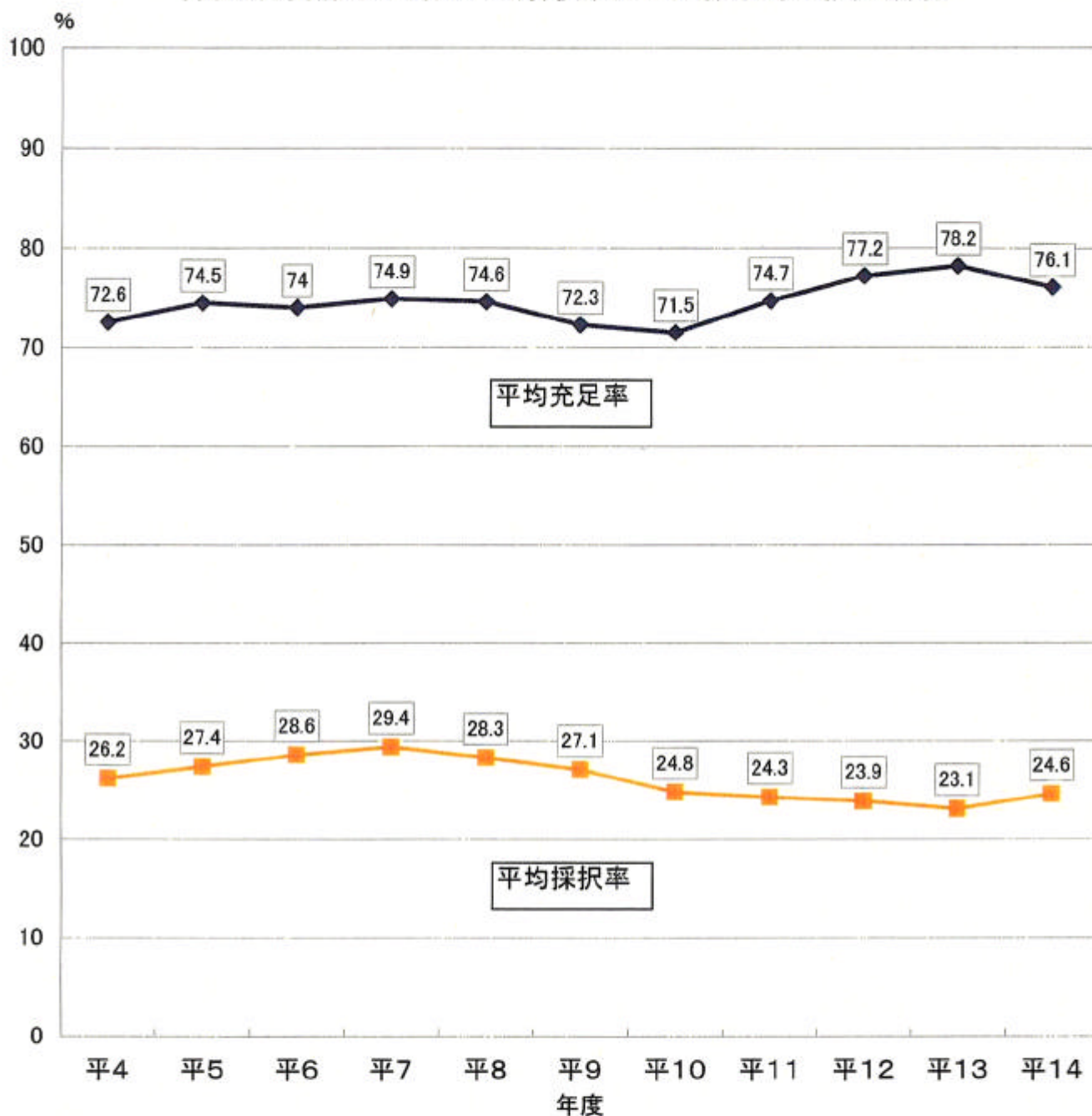


科学研究費補助金全体の平均採択率及び平均充足率の推移(新規)



注1) 採択率及び充足率は、各年度7月現在の値。

注2) 主な制度改善は、以下のとおり

(1) 平成8年度、基盤研究等の継続課題について、内約上限額を引き上げた。

(2) 平成8年7月の学術審議会「科学研究費補助金の充実について(中間まとめ)」を踏まえ、平成9年度新規より、以下の制度改善を行った。

① 基盤研究については、1～3年の研究期間を2～4年に改善するとともに、申請金額の上限を見直し、(A)=2,000～5,000万円、(B)=500～2,000万円、(C)=500万円以下、とした。

② 奨励研究(A)(現・若手研究(B))については、1年の研究期間を「2年」に改善するとともに、申請金額の上限を見直し「300万円以下」とした。